

ピアニスト (2001)

LA PIANISTE
THE PIANO TEACHER

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 フランス/オーストリア

色彩 Color

時間 132分

初公開日 2002/02/02

公開情報 日本ヘラルド映画

映倫 R-15

【キャッチコピー】

愛しても 愛することができない

ぼくは あなたがどんなに哀しい秘密を持っていても 愛しています。

【解説】

“普通でない” 性的嗜好をもつ中年女性が、そうとは知らずに近づいてきたハンサムな青年の一途な恋に戸惑い、スレ違いの性的情感に苦悩するさまを繊細にして力強く描いた切なく激しい愛の物語。監督は「ファニーゲーム」のミハエル・ハネケ。2001年のカンヌ映画祭において、グランプリの他、最優秀主演女優賞、最優秀主演男優賞の三冠に輝いた。

ウィーン。小さい頃から母親に厳しく育てられたエリカ。40歳を過ぎてウィーン国立音楽院のピアノ教授となった今でも母と二人暮らし。ある日、エリカは私的な演奏会の席で青年ワルターに出会う。彼のピアノの才能に特別な感情を抱くエリカだったが、それ以上にワルターのエリカに対する思いは強かった。彼女に執拗につきまとい、ついには音楽院の試験に合格し彼女の生徒となってしまう。ワルターはある日、思いあまってトイレにいたエリカに強引にキスを迫る。ワルターの思いが通じたかと思われた瞬間、エリカがひた隠しにしていた秘密があらわになる……。

【クレジット】

監督	ミハエル・ハネケ	Michael Haneke
製作	ファイト・ハイドウシュカ	Veit Heiduschka
製作総指揮	イヴォン・クレン	Yvon Crenn
	クリスティーヌ・ゴズラン	Christine Gozlan
	ミハエル・カッツ	Michael Katz
原作	エルフリーデ・イエリネク	Efriede Jelnek
脚本	ミハエル・ハネケ	Michael Haneke
撮影	クリスティアン・ベルガー	Christian Berger
出演	イザベル・ユペール	Isabelle Huppert エリカ・コユット
	ブノワ・マジメル	Benoit Magimel ワルター・クレメール
	アニー・ジラルド	Annie Girardot エリカの母
	アンナ・シガレヴィッチ	Anna Sigalevitch
	スザンヌ・ロタール	Susanne Lothar
	ウド・ザメル	Udo Samel